



# No Book No Life

No.10 / 2023年3月

## 年間多読者 TOP3

1位:1-6 富岡 優月さん

2位:1-3 中澤 一晃さん

3位:2-6 齋藤 蓮さん

今年度は上位3名に1年生が半分以上ランキングしました。部活動、勉強など慣れない高校生活に関わらず多くの本を読めるのは素敵ですね！今回は2位の中澤さんにインタビューをしました。

### <中澤さんへのインタビュー>

Q. 毎月何冊くらい、本を読みますか？

A. 平均10冊くらいです。

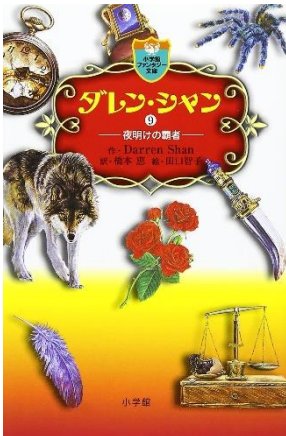
Q. 好きな本のジャンルは何ですか？

A. ジャンルを問わず読みます。

Q. 最後に、皆さんにおすすめする本を教えてください！

A. ダレンシャン作「ダレン・シャン」シリーズです。

中澤さん、インタビューありがとうございました！



中澤さんおすすめの本

## 『ダレン・シャン』

### 【あらすじ】

友人の命を救うためバンパイアのクレスプリーとの取引で自分がバンパイアになってしまったダレン少年。半分人間、半分バンパイアとして生きていくために家族と友人を失い寂しい毎日を送っていた。ある日クレスプリーの提案で「シルク・ド・フリーク」のメンバーになり友達も出来て、ようやく笑顔がとりもどせるようになったが…。

※高高図書館に置いてありませんが、図書館から取り寄せる事が出来ます。

# 皿山先生のお姉さまが本を書きました！



麻宮好『恩送り 泥濘の十手』2022年発売 小学館

## 【あらすじ】

岡っ引きの父、利助を探す娘のおまさ。おまさを手助けする少年亀吉&要、そして同心の飯倉。手がかりは...漆塗りの蓋!?そして土左衛門が上がったことで場面は急展開。おまさと三人は新たな手がかりを元に利助を探し出せるのか? 読者を圧倒する、堂に入った筆力の人情捕物帳!

※高高図書館に置いてあります。

## 【著者略歴】麻宮 好 (あさみや こう)

群馬県生まれ。大学卒業後、会社員を経て中学入試専門塾で国語の講師を務める。2020年、「第1回日本おいしい小説大賞」の応募作である『月のスープのつくりかた』を改稿しデビュー。2022年、本作で第1回警察小説新人賞を受賞。



麻宮好『月のスープのつくりかた』2020年発売 小学館

## 【あらすじ】

母のレシピは幸福の“おまじない”。姑とのトラブルで嫁家を飛び出した高坂美月は自活のため、学習塾で働き始めた。ある日、家庭教師の派遣先で出会ったのは母親が海外留学中の中学受験生、倉橋理穂と弟の悠太。母親不在の食卓を囲むことになった美月、理穂、悠太。それぞれ秘密を抱えた三人は幸せになるための”おまじない”を探していく。号泣必至、悩み多き女性たちに送る救済の物語。高高生も泣けるかも。

※高高図書館に置いてあります。



## 皿山先生にコメントを頂きました！

優れた小説の条件は、ストーリーの面白さ、魅力的な登場人物、そして「人の心」が描かれているということであると思う。そういう意味で、「なかなかやるな、姉貴。」と思わせる作品である。ドラマ化すると良いと思った。

(1740 渡邊)